

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年4月17日 土曜日

## 自動DMLプロセスの行のロックに関するマニュアルの記述を確認する

以前から少し気になっていたので、以下のマニュアルの記述について、実際の動作を確認してみました。

アプリケーション・ビルダー・ユーザズ・ガイド Release 20.2

### 18.8 DMLロックについて

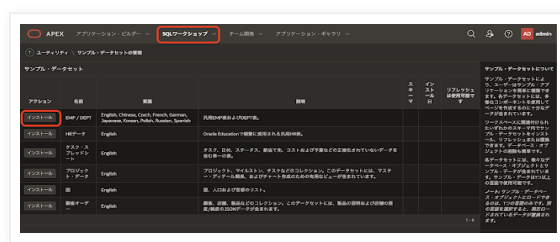
翻訳の問題ではないことを確認するため、英語の方も参照しています。

App Builder User's Guide

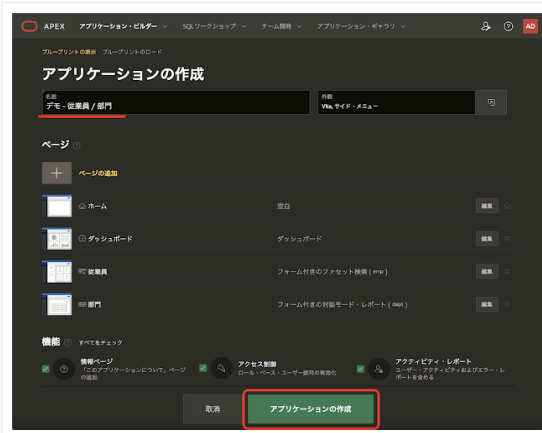
### 18.8 About DML Locking

調べた結果としていえることは、マニュアルの**DMLロックについて**として記載されている内容は、以前の静的コンテンツのリージョンを使ったフォームでのプロセス、**タイプは行の自動処理(DML) [レガシー]**にのみ有効な記述で、**新しいフォーム・リージョンや対話グリッドはこの設定を参照していません。**

動作を確認するために、SQLワークショップのサンプル・データセットからEMP/DEPTをインストールし、そのままアプリケーションを作成しました。



言語に**Japanese**を選んでいると、作成されるアプリケーションの名前は**デモ - 従業員/部門**となるでしょう。何も変更せず、**アプリケーションの作成**を実行します。



これで動作確認に使用するアプリケーションは完成しました。

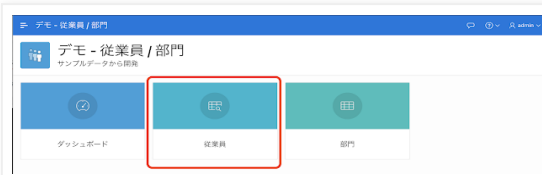
APEX\_DML\_LOCK\_WAIT\_TIMEの動作について確認します。

マニュアルの記載によると、この値が定義されていないときは無期限にロックの取得を待つ、となっています。

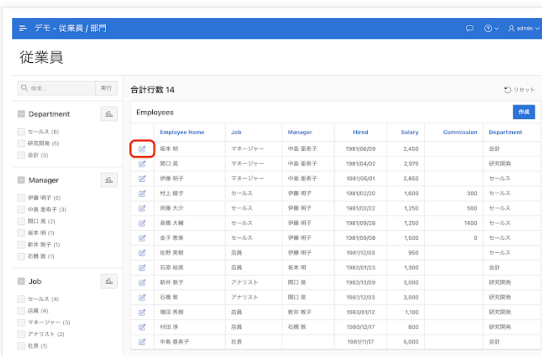
NULL (the default), results in the same behavior as previous versions of Oracle Application Express, that is, wait indefinitely.

アプリケーションは作成したばかりなので、APEX\_DML\_LOCK\_WAIT\_TIMEは設定していません。

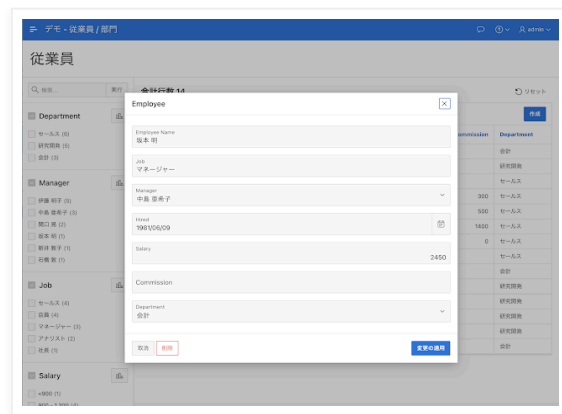
アプリケーションを実行します。従業員のレポートを開きます。



任意の従業員を選んで、編集フォームを開きます。



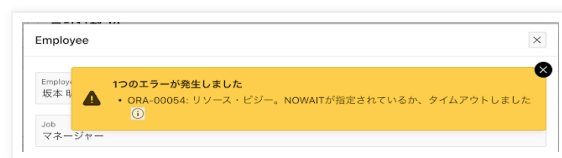
フォームが開くので、そのままにしておきます。



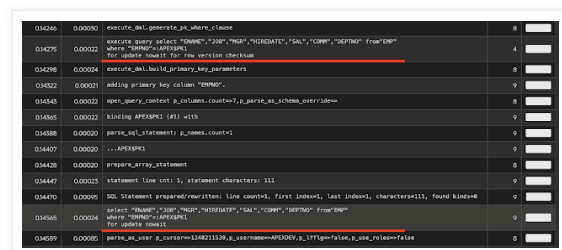
データベースにsqlplusで接続し、表EMPに排他ロックをかけます。

**SQL> select \* from emp for update;**

フォームで**変更の適用**をクリックすると、ORA-00054 リソース・ビジー。NOWAITが指定されているか、タイムアウトしました、とメッセージが表示され、変更の適用は行われません。



実際にデバッグ・レベルを完全トレースまであげ、発行されているSQLを確認しても、for update nowaitとなっています。

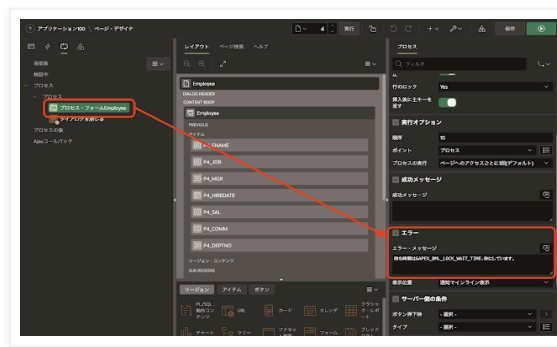


アプリケーション置換文字列、アプリケーション・アイテムまたはページ・アイテムとして、APEX\_DML\_LOCK\_WAIT\_TIMEを設定することができる、と記載されているので、アプリケーション置換文字列として10秒を設定してみます。



同じ操作を行って動作の確認をします。その前にAPEX\_DML\_LOCK\_WAIT\_TIMEに設定した値がプロセスに渡っていることを、エラーが発生したときに確認できるよう、エラー・メッセージを以下に変更します。

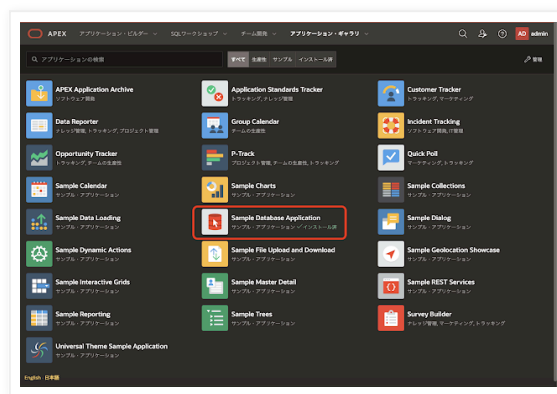
待ち時間は&APEX\_DML\_LOCK\_WAIT\_TIME.秒にしています。



結果は変わらず、ORA-54が発生します。エラー・メッセージには待ち時間は10秒にしています。と表示されているため、APEX\_DML\_LOCK\_TIME\_WAITの値はプロセスに渡っています。

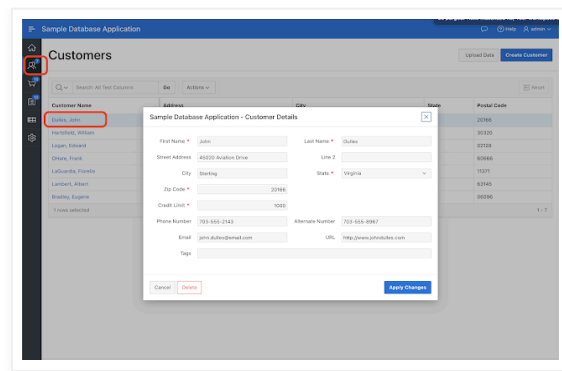


レガシーのフォームでの動作を確認するために、アプリケーション・ギャラリーよりSample Database Applicationをインストールします。



サンプルとなるアプリケーションにレガシーな機能を使っているのか、というのはさておき、インストールしたアプリケーションの置換文字列として、APEX\_DML\_LOCK\_TIME\_WAITを10に設定しておきます。

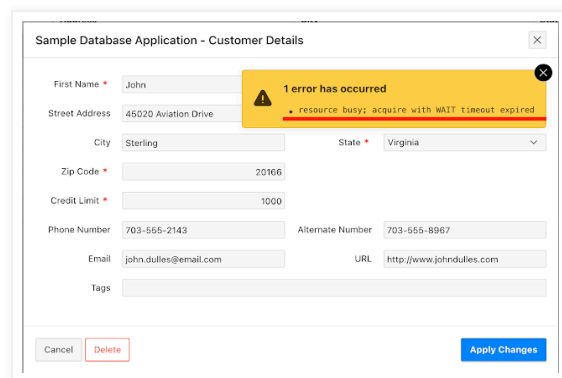
アプリケーションを実行し、顧客の一覧から任意の顧客を選んで編集画面を開きます。



sqlplusより表DEMO\_CUSTOMERSの排他ロックを取得します。

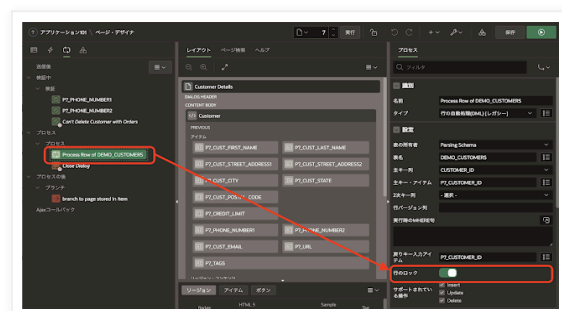
**SQL> select \* from demo\_customers for update;**

フォームのApply Changesをクリックすると10秒待ち、エラー・メッセージとして**resource busy; acquire with WAIT timeout expired**が表示されます。



マニュアルに記載されているとおりの動作です。

FSP\_DML\_LOCK\_ROWについては、レガシーのプロセスであっても、**行のロック**としてGUIから設定できるため、まったく使う機会はないでしょう。



Oracle APEXでは、ロストアップデートの保護のために、行のチェックサムやバージョンを取得する際にSELECT文を発行します。以前はFSP\_DML\_LOCK\_ROWやAPEX\_DML\_LOCK\_TIME\_WAITの指定を参照して、for update wait 10といった調整ができましたが、**新しいフォームおよび対話グリッドではfor update nowaitを発行し、待機せず、取得できなければエラーとする動作になっているようです。**

どちらの設定でも一長一短があり、アプリケーションの用途に応じて設定を変える内容かと思います。オンライン操作でそれほど処理の競合が発生するとは思えず、また、バッチ処理などが同時に実行されているような場合は、明らかにnowaitが有利だと思います。

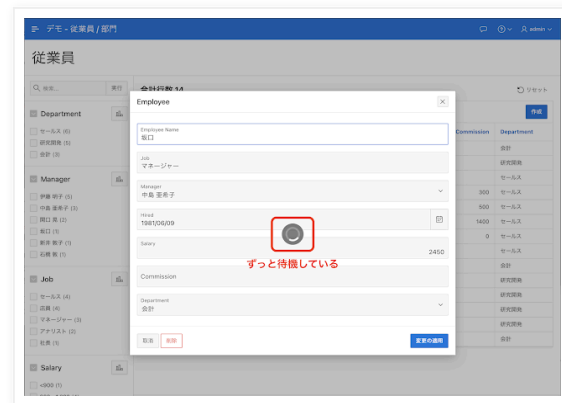
そうでない場合は、例えば、今回の例のように待ち時間10秒でロック待機するPL/SQLコードを行のロックに記述すればいいのかな？と思ったのですが、

```

declare
  r emp%rowtype;
begin
  select * into r
  from emp
  where empno = :APEX$PK1
  for update wait 10;
end;

```

実際に行のロックに設定すると、ずっと待機します。



待機中のSQLを確認したところ、自動DMLプロセスが発行したUPDATE文で待機が発生していて、行のロックとして記述したPL/SQLコードではありません。

```

SQL> select sql_text from v$sql
2   where sql_id in
3   (
4       select sql_id from v$sqlsession
5       where sid in
6       (
7           select waiting_session from dba_waiters
8       )
9   );

```

SQL\_TEXT

```

-----
update "EMP" set
"ENAME"=:APEX$VAL2,"JOB"=:APEX$VAL3,"MGR"=:APEX$VAL4,"HIREDATE"
=:APEX$VAL5,"SAL"=:APEX$VAL6,"COMM"=:APEX$VAL7,"DEPTNO"=:APEX$VAL8 where
"EMPNO"
=:APEX$PK1

```

```

update "EMP" set
"ENAME"=:APEX$VAL2,"JOB"=:APEX$VAL3,"MGR"=:APEX$VAL4,"HIREDATE"
=:APEX$VAL5,"SAL"=:APEX$VAL6,"COMM"=:APEX$VAL7,"DEPTNO"=:APEX$VAL8 where
"EMPNO"
=:APEX$PK1

```

SQL>

海外のブログ記事でも、ずっと以前ですが同様の指摘をしている人を見つけました。

今までに調べた範囲では、行のロックにPL/SQL Codeを選択し、コードを記述しても、それは実行されないようです。結果としてPL/SQL CodeとNoの効果が同じになっています。

この件については、また別に時間をとって確認しようと考えています。

以上で今回の確認作業は終了です。

Oracle APEXのアプリケーション開発の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 13:38

共有

---

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---